

I 調査概要

I 調査概要

1 調査目的

本県は国内有数の「ものづくり県」であり、多様な視点や発想を取り入れながらさらに技術力・競争力を高め、社会のニーズに応える製品やサービスの創出をすることが期待されている。そのためには、男女共同参画^{*}の理念のもと、女性が理工系分野においても能力を十分に発揮し男性技術者とともに研究や技術開発を進めていくことが重要である。しかしながら、現状では研究・技術開発を担う女性の人材は少なく、また、理工系への進路を希望する女子生徒は男子生徒よりも少ない。

このため、本調査は、栃木県内に立地している理工系企業に勤務する研究・技術開発職の女性人材の増加を図るとともに、そのキャリア形成を支援し活躍促進を図るための基礎資料を得ることを目的として実施した。

具体的には、栃木県内に立地する製造業またはソフトウェア業を営む企業（以下、この調査において「理工系企業」という。）における、主に研究・技術開発職の女性人材の活用実態及び勤務環境やキャリア形成に関する意識等を把握した。

あわせて、大学（大学院）の理系学部^{*}に在籍する女子学生の就職及びキャリア形成に関する意識を把握するとともに、女子の理系への進路選択を促進するため、高校3年生を対象に理系分野への進学・就職に関する意識を把握した。

^{*}男女共同参画 男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野の活動に参画する機会が確保され、男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受でき、かつ、共に責任を担うこと。

2 調査方法

調査は、アンケート調査及びヒアリング調査を実施した。

■アンケート調査

	高校生 [*]	理工系企業
調査対象	県立高校（抽出15校）の3年生 （男女）	県内に立地する製造業または ソフトウェア業を営む企業
対象者数	1,211人	222社
調査方法	紙媒体による記入式 （各クラス単位で配布・回収）	紙媒体による記入式 （郵送）
調査期間	令和3（2021）年6～7月	令和3（2021）年8月

^{*}高校生対象のアンケートについては、栃木県が直接調査を実施した。

■ヒアリング調査

調査対象	女子大学生（大学院生）	アンケート調査で回答を得た企業	
	県内大学の理系学部在学者 及び本県出身で県外大学の 理系学部在学者	企業代表者または 人事担当者	当該企業に勤務する 女性社員
対象者数	12人	10社（13人）	4社（5人）
調査方法	対面またはオンラインによる	対面による	
調査期間	令和3（2021）年7～9月	令和3（2021）年10～11月	

3 報告書を見る際の注意事項

回答率等については、小数点第2位を四捨五入して小数点以下第1位までを表記している。このため、表記上の百分率の合計が100%にならない場合もある。